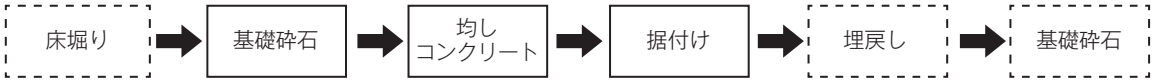
ボックスカルバート歩掛表

■ 施工フロー

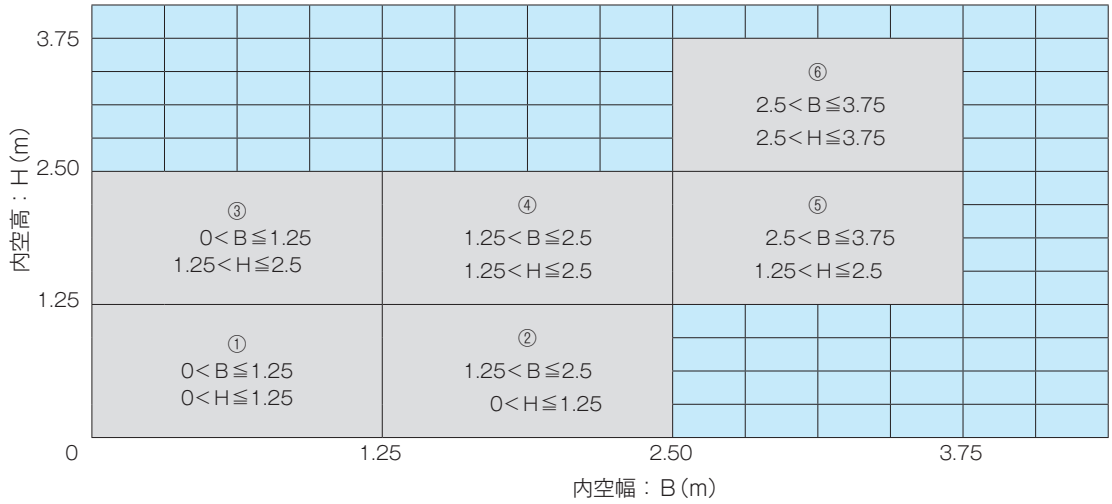


※　本歩掛で対応しているのは、実線部のみである。

■ 機種の選定 (表１)

構造物名称	規　格　区　分	機　　械　　名	規　　格
ボックスカルバート	内空高　2.5 m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型　油圧伸縮ジブ型 25 ｔ吊
	内空高　2.5 m超	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型　油圧伸縮ジブ型 45 ｔ吊

■ 歩掛区分 (表２)



■ ボックスカルバート据付歩掛表 (表３)

製品長	歩掛区分	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃貸(日)	雑工種率(%) 基礎砕石	雑工種率(%) 均しコンクリート	諸雑費率 (%)
2.0m/個	①	0.6(0.8)	0.4(0.5)	1.3(1.7)	0.3(0.3)	28(23)	52(43)	11(13)
	②	0.9(1.3)	0.5(0.8)	1.8(2.8)	0.4(0.4)	37(27)	88(63)	
	③	0.9(1.3)	0.5(0.8)	1.8(2.8)	0.4(0.4)	27(19)	56(40)	
	④	1.1(1.9)	0.7(1.2)	2.4(3.9)	0.6(0.6)	29(19)	69(47)	
1.5m/個	②	1.2(2.3)	0.8(1.4)	2.5(4.7)	0.5(0.5)	27(16)	64(38)	7(6)
	④	1.6(2.7)	1.0(1.7)	3.3(5.7)	0.6(0.6)	22(14)	53(34)	
	⑤	2.5(3.9)	1.6(2.5)	5.2(8.1)	0.9(0.9)	23(16)	60(41)	
	⑥	3.7(5.4)	2.3(3.4)	7.7(11.2)	1.3(1.3)	14(11)	38(28)	
1.0m/個	④	1.7	1.1	3.5	0.7	20	49	6
	⑤	3.2	2.0	6.7	1.5	17	44	

(注) 1. ( )書き：ＰＣ鋼材による縦連結の場合（ボックスカルバートの据付け＋ＰＣ鋼材による縦締め）
2. 本歩掛で対象としている製品は、１ブロックを１部材で構成するボックスカルバートである。
3. 歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含むものであり、床掘り、埋戻し、残土処理は含まない。
4. ラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は表１による。現場条件により表１の選定が難しい場合は、別途考慮する。
5. 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用し、ＰＣ鋼材、定着金具は、別途必要量を計上する。
6. 雑工種及び諸雑費は、労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
[雑工種(基礎砕石)]
敷設・転圧労務、材料投入、締固め機械運転経費、砕石等材料費
[雑工種(均しコンクリート)]
打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホッパ・バイブレータ損料、コンクリート、養生材
均し型枠材料費
[諸雑費]
レバーブロック・油圧ジャッキ（ポンプ含む）・グラウトポンプ・ミキサーの損料、敷モルタル・目地モルタル・グラウト材等の材料費
7. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、現場条件により、別途考慮する場合がある。
8. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適応出来る。
9. 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布及びケレン作業を含む。